



**1947 (昭和22年)** ●教育基本法制定、義務教育を9年(小・中学校)として授業料を無償化  
○赤池中・金田中・方城中開校

**1946 (昭和21年)** ○日本国憲法が公布される

**1945 (昭和20年)** ○東京大空襲(3月)  
○沖繩戦(3~6月)  
○広島長崎に原爆投下(8月)  
○終戦

**1942 (昭和17年)** ○ミッドウエー海戦で大敗後、日本は攻勢から守勢になる

**1941 (昭和16年)** ○関門国道海底トンネル開通  
○太平洋戦争始まる

**1939 (昭和14年)** ●第二次世界大戦  
○上野村の町政施行により赤池町誕生

**1931 (昭和6年)** ○満州事変(日本が満州占領)  
○1937~日中戦争始まる

**1926 (昭和元年)** ▼元号「昭和」はみやこ町出身の漢学者・吉田増蔵(学軒)が創案。これまで200以上ある元号の中で64年間と一番長く使われた。

**1921 (大正10年)** ●赤池発電所開設

**1920 (大正9年)** ○国際連盟が発足、日本が常任理事国(五カ国)の一員に  
●常設映画館「大和館」(金田)が興行開始  
●演劇場「宝城座」(犬星)が建つ

**1916 (大正5年)** ●神田村の町政施行により金田町誕生

**1915 (大正4年)** ●伊方村電ヶ鼻で銅山発掘

**1914 (大正3年)** ●第一次世界大戦(1918)  
●三菱方城炭鉱ガス炭塵爆発「方城大非常」発生  
●金田駅前に商店がちらり市街地を形成

**1913 (大正2年)** ●神田村の町部に電灯がつく

**1912 (大正元年)** ●金田炭坑の東横橋が完成



**1962 (昭和37年)** ●三菱方城炭鉱閉山

**1960 (昭和35年)** ○カラーテレビ放送が始まる

**1959 (昭和34年)** ●炭鉱が次々に閉山し失業者急増、緊急就労事業を実施

**1958 (昭和33年)** ○東京タワーが完成  
高さ333メートル

**1956 (昭和31年)** ●方城村の町政施行により方城町誕生

**1955 (昭和30年)** ●電気炊飯器が登場  
●赤池・金田・方城町の人口が最多に(4万2557人)

**1954 (昭和29年)** ○高度経済成長でテレビ、冷蔵庫、洗濯機が普及

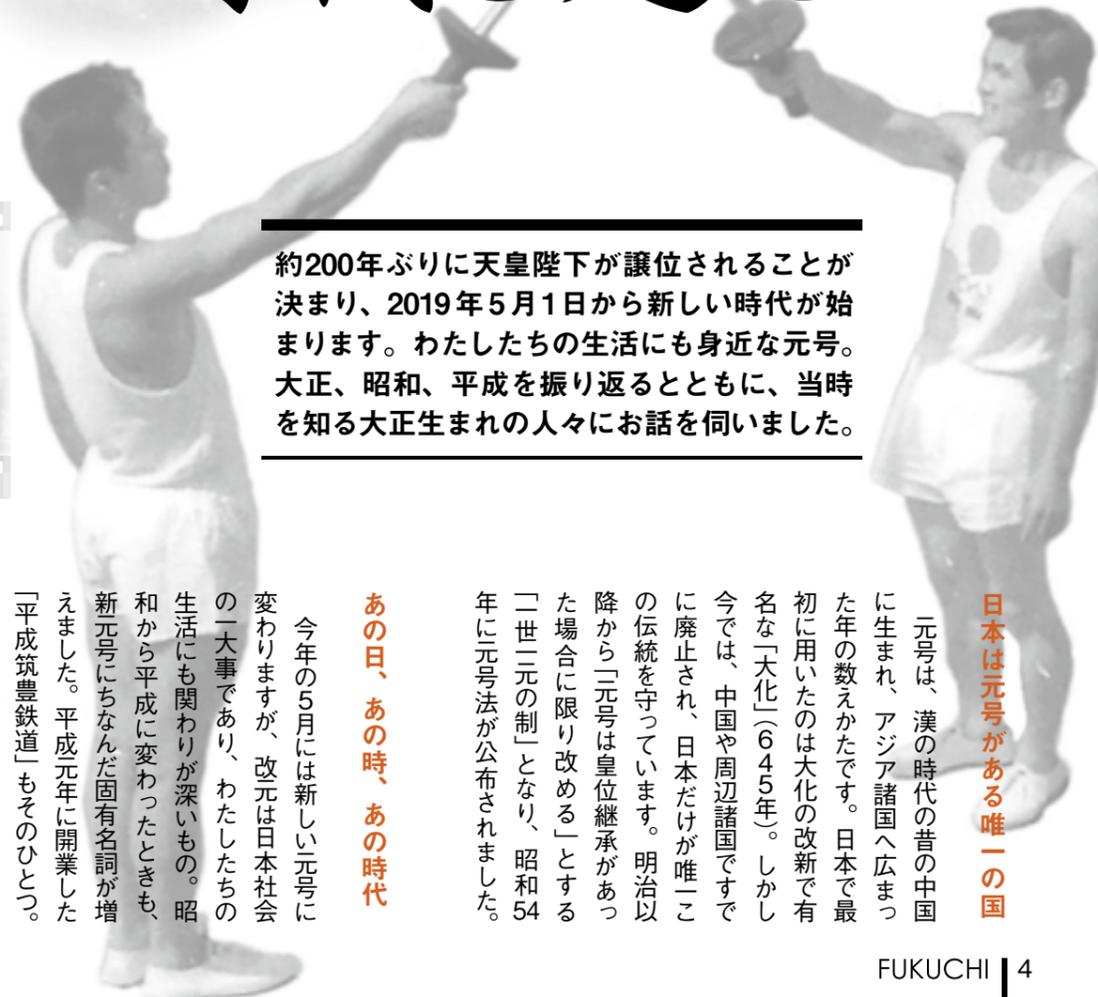
**1951 (昭和26年)** ○サンフランシスコ平和条約

**1949 (昭和24年)** ●天皇陛下が町内を御巡幸



大正、昭和、平成  
三つの時代を超えて

特集



約200年ぶりに天皇陛下が譲位されることが決まり、2019年5月1日から新しい時代が始まります。わたしたちの生活にも身近な元号。大正、昭和、平成を振り返るとともに、当時を知る大正生まれの人々にお話を伺いました。

日本は元号がある唯一の国

元号は、漢の時代の昔の中国に生まれ、アジア諸国へ広まった年の数えかたです。日本で最初に用いたのは大化の改新で有名な「大化」(645年)。しかし今では、中国や周辺諸国ですでに廃止され、日本だけが唯一この伝統を守っています。明治以降から「元号は皇位継承があった場合に限り改める」とする「世一元の制」となり、昭和54年に元号法が公布されました。

あの日、あの時、あの時代

今年の5月には新しい元号に変わりますが、改元は日本社会の一大事であり、わたしたちの生活にも関わりが深いもの。昭和から平成に変わったときも、新元号にちなんだ固有名詞が増えました。平成元年に開業した「平成筑豊鉄道」もそのひとつ。ほかにも「平成の大合併」など時代を象徴する言葉として元号は使われています。新しい時代が始まる今年、それぞれの時代を町の歴史とともに振り返ります。みなさんにとってはどのような昭和と平成だったのでしょうか。

今の楽しみは  
グラウンドゴルフ

**高林 コトエさん**  
(市場)  
大正14年生まれ/93歳

**とにかく働き続けた昭和**  
戦時中は軍の工場で、戦後は炭鉱で重い石炭を担ぎ、炭鉱閉山後は土木業に従事。国や家族のために夫と働き続け、青春はなかったです。平成に入り、舞踊や旅行で余暇を楽しむ時間ができ、平穏な時代になったと感じています。

**鳥尾峠で拝した天皇陛下**  
激戦地バプアニューギニアで終戦を迎え、帰国後、中学校の教師となりました。天皇陛下御巡幸の際は、一番いい場所を考えに考え、視野が広がってカーブの多い「鳥尾峠」に決めました。今でも峠を通ると当時の情景を思い出します。

昭和は  
印象深い出来事  
が多かった

**植田 辰生さん**  
(弁城)  
大正12年生まれ/95歳



FUKUCHI TOWN HISTORY

平成

<p><b>1992</b> (平成4年)</p> <p>●赤池町が財政再建準備団体に指定される(H13年完了)</p>  <p>道路補修する町職員</p>	<p><b>1991</b> (平成3年)</p> <p>●車いすこまが国際交歓会が始まる</p>  <p>海外選手との交流</p>	<p><b>1989</b> (平成元年)</p> <p>●平成筑豊鉄道が金田町に本社を設置し営業開始</p> <p>○消費税3%導入</p>	<p><b>1986</b> (昭和61年)</p> <p>○バブル景気(〜1991)</p>  <p>赤池出身・田中六助氏</p>	<p><b>1985</b> (昭和60年)</p> <p>●元内閣官房長官・通産大臣・田中六助氏が死去</p> <p>○東京デイズニールランド開園</p>	<p><b>1983</b> (昭和58年)</p> <p>●上野焼が国の伝統的工芸品に指定される</p>  <p>上野焼 高鶴夏山氏</p>	<p><b>1982</b> (昭和57年)</p> <p>●方城町が財政再建準備団体に指定される(H4年完了)</p>	<p><b>1981</b> (昭和56年)</p> <p>●主要地方道「田川―直方バイパス」完成</p> <p>●金田町が財政再建準備団体に指定される(S62年完了)</p>	<p><b>1972</b> (昭和47年)</p> <p>●沖繩が日本に返還される</p> <p>●町の公共施設が次々に完成</p>  <p>方城町民プール</p>  <p>赤池町民会館(写真右)とボタ山</p>	<p><b>1971</b> (昭和46年)</p> <p>●上野焼が北九州国定公園に指定される</p>  <p>白糸の滝(上野焼)</p>	<p><b>1970</b> (昭和45年)</p> <p>●九州日立マクセル株式会社 操業開始</p> <p>○日本万国博覧会(大阪)開催</p>	<p><b>1965</b> (昭和40年)</p> <p>●明治鉱業赤池鉱業所閉山</p>	<p><b>1964</b> (昭和39年)</p> <p>●東京オリンピックの聖火が赤池・金田・方城を通る</p> <p>○東京オリンピック開催</p>	<p><b>2018</b> (平成30年)</p> <p>●福智町ふるさと納税寄付額第1位に</p>	<p><b>2017</b> (平成29年)</p> <p>●日本航空と包括連携協定を締結</p>	<p><b>2016</b> (平成28年)</p> <p>●赤池支所を改修し、図書館・歴史資料館「ふくちのち」開館</p>	<p><b>2015</b> (平成27年)</p> <p>●福智町マスコットキャラクター「福天」誕生</p>  <p>平成21年7月中国・九州北部豪雨</p>	<p><b>2014</b> (平成26年)</p> <p>●7月24日を「福智町防災の日」に制定</p>	<p><b>2013</b> (平成25年)</p> <p>●福智スイーツ大茶会初開催</p>	<p><b>2012</b> (平成24年)</p> <p>●福智名物の「方城すいとん」を復刻</p>  <p>方城大非常が起源</p>	<p><b>2011</b> (平成23年)</p> <p>●福智町出身のIKKOさんが福智町観光大使に就任</p>  <p>美容家のIKKOさん</p>	<p><b>2008</b> (平成20年)</p> <p>●マクセル赤レンガ記念館が国の近代化産業遺産に認定</p>	<p><b>2007</b> (平成19年)</p> <p>●皆川ヨ子さん(上野)が114歳で世界最高齢者となりギネス認定される</p> 	<p><b>2006</b> (平成18年)</p> <p>●赤池町・金田町・方城町が合併して福智町誕生</p> <p>●全国広報コンクールで2度目の内閣総理大臣賞を受賞</p>  <p>きらびやかな夜の電飾山笠は圧巻</p>	<p><b>2002</b> (平成14年)</p> <p>●上野焼四百年祭開催</p> <p>●金田・神崎山笠競演会を公式開催</p>
---	---	---	--	--	--	--	--	---	---	--	--	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--



**一年の計に願う平和な次代**

大正時代から現在に至るまでの1世紀で、日本や世界は劇的に変わりました。電話を持ち歩き、インターネットでも検索できる時代がくることを百年前には想像すらできなかつたでしょう。わたしたちは時代を担ってきた先人たちの汗と涙が、現代の生活を築いてきたことを忘れてはなりません。

戦争を経て「平和」の思いが込められた「平成」の時代を超え、新たな時代へと向かう今年。わたしたちは平和の尊厳を引き継ぎ、未来を築く大切な役割を担っています。

趣味は  
グラウンドゴルフ  
囲碁にカラオケ



**佃 俊美さん**  
(伊方)  
大正14年生まれ/93歳

**激動の時代を経て得た幸せ**

徴兵制で久留米で入隊し、台湾で終戦を迎えました。帰国して再会した時の両親の表情が忘れられません。戦後の日本は180度変わりました。高度経済成長を経て、今は便利な世の中に。全てに恵まれた幸せな時代だと思います。

**東京で7万人の学生見送る**

東京の文化服装学院へ進学。昭和18年の学徒出陣では明治神宮外苑競技場で出兵する学生を見送りました。東京大空襲のあと帰郷。今でもテレビで戦争当時の様子が流れると、あのときの光景がよみがえり、涙があふれます。

今は  
孫やひ孫の  
成長が楽しみ



**石谷 美代子さん**  
(伊方)  
大正14年生まれ/93歳